

平成20年度行政評価(19年度会計)事務事業評価結果一覧(2次評価)

(1)今後の事業のあり方

事務事業名	今後の方向性	コスト	成果	指 摘 事 項	担当課名
ブックスタート事業	現状維持	維持	維持	・お子さんの成長に合わせた本を親御さんが選び購入することも必要と判断し現状維持とする。	生涯学習センター 白沢公民館
雨水処理施設整備事業	現状維持	維持	維持	・阿武隈川左岸築堤基本計画が策定中のため、それに伴い有効性も見直し余地がある。 ・成果指標の見直し。浸水危険区域の減少面積での把握が適当。	上下水道課
石綿セメント管更新事業	現状維持	維持	維持	・公益性が高い事業である。	上下水道課
遊休農地対策事業	目的再設定	—	—	・個々の目的妥当性は見直し。 ・農家の人たちの関わりを進める部分について見直しする	農政課
安達太良ドリームライン整備事業	現状維持	維持	維持	・一般道路と平行して事業を進めていくため、現状維持である。	産業建設課
道路改良事業	現状維持	維持	向上	・改良優先順位基準を精査する。	建設課
子ども安全パトロール	有効性改善	維持	向上	・抑止力を高めるという観点から適切。 ・1人で通学する地域は、現在対応できていない。この地域について、有効性の検討が必要。	幼保学校課
小学生医療費助成事業	有効性改善	向上	向上	・目的妥当性としては、子育て世帯の経済的支援や、安心して医療受けられる体制づくりは、行政が取り組む必要性がある。 ・事業を変更。拡大する方向で見直す。	子ども福祉課